

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
大宮医療秘書専門学校	平成23年3月28日	増田 泰朗	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-197-1 (電話) 048-658-0850
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
学校教育法に基づき、医療・福祉関連分野において活躍する人材を育成する為、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
医療秘書科	2	120	240
医療事務科	1	40	40
診療情報管理士科	3	40	120
国際ビジネス科	2	40	80

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。	
医療秘書科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
医療事務科	・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
診療情報管理士科	・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、情報活用に必要な高度なパソコンスキルを有する。 ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。 ・チーム医療の中心的役割、及び、病院経営に貢献できる経営に関する知識を有する。
国際ビジネス科	・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。 ・外食業、飲食料品製造業、宿泊施設や介護施設など日本で働くための知識を有する。

<取得可能な資格について>

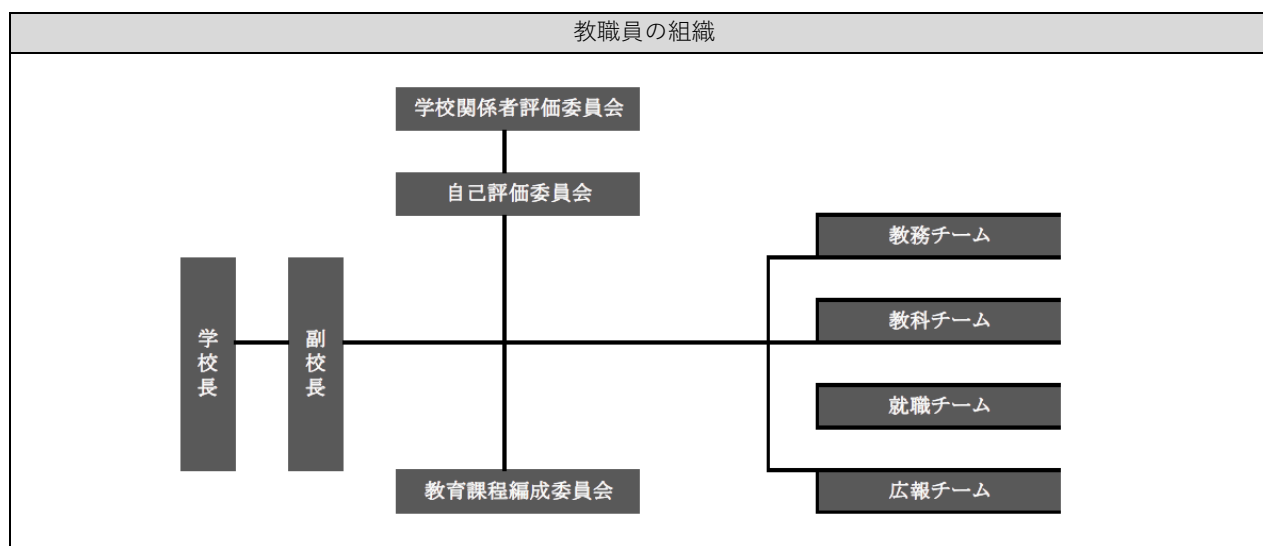
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/omiya-med/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/omiya-med/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	16人
兼任教員	26人
事務職員	3人



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
佐藤 木綿子	医療事務・診療実務	医療事務技能検定1級／施設基準管理士病院・クリニックでの受付、病棟クラーク、レセプト業務
西村 早紀	医療事務 医療事務コンピュータ	診療報酬請求事務能力認定（医科）／医事コンピュータ技能検定2級医療事務コンピュータ導入に伴うインストラクター業務
稲葉 妃香	医療事務・介護事務	診療報酬請求事務能力認定（医科）／医事コンピュータ技能検定2級医療事務コンピュータ導入に伴うインストラクター業務
小川 千絵	医療事務・歯科事務	医療事務技能審査1級／医師事務作業補助技能認定 社会人向けスクールでの医療事務講座・歯科事務講座講師
東城 恵子	診療情報管理士	診療録管理士／診療情報管理士 病院での診療情報管理士業務

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/omiya-med/jobdata/support.shtml
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 <医療秘書科 医療機関実習>20日間の体験実習を行う。医療事務業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。終了後には振り返りを実施し、実習先からの評価に基づいたフィードバックを行うものとする。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/omiya-med/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。生徒の自習や個別面談等を行うためのスペースを設置し、個別事情に配慮した環境を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/omiya-med/guideline_2025/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/omiya-med/guidelines/support.shtml

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---